

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「山桜雑戯団かな〜」

テーマ：「頭が良いのにバカな美少女」

キャラクター

45

ストーリー

30

テーマ(設定)

45

文章力

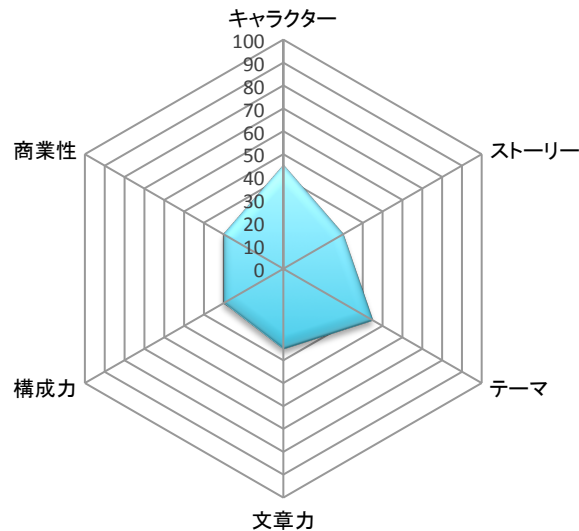
35

構成力

30

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・「この作品の最大の魅力はこれ!というものが無い」というチェックについて、魅力がないわけではなく、何が最大の魅力に該当するのかが分かりにくく、作品としての面白さが薄れてしまっている。(具体的に言ってしまうとまずカナと柚のこと。3人揃って青春感というコンセプトは非常に面白いが、やはり「見て欲しいのはこのヒロインです!」といった押しは欲しかったと感じた。またストーリーも、犯人探しの過程に最大の魅力があるのか、その後の後日談のゆるさに魅力があるのか分からない)

・着ぐるみ大好きという設定は非常に面白い。枚数の関係上仕方ないことではあるが、もう少し制限がゆるければその設定を深められたのかと思うと残念。

合計加点ポイント: 0

総得点: 215 / 600

B方式総合得点: 7704 点